



柱廻の光で浮かび上がる4階のレストラン。この階はにぎわいのある交流のハブ空間と位置づけられている

渋谷ストリームエクセルホテル東急

SHIBUYA STREAM EXCEL HOTEL TOKYU

世界から「渋谷」に集まるゲストとクリエイターとのスクランブル交差点
 渋谷ストリームの9～13階は、デラックスからスタンダードまで177の客室を備えた「渋谷ストリームエクセルホテル東急」。ロビーが設けられた4階には、レストランやバー以外にインキュベーションオフィスやサイクルカフェ、アクティビティコートが設けられている。「渋谷独自の価値観や感覚をホテルのデザインに取り入れようと考え、地域の記憶をスマートな空間や斬新なデザインに取り入れ、外国人を中心としたゲストの感性に訴えた」と株式会社東急ホテルズ事業企画部 マネージャーの今井 潤一氏。

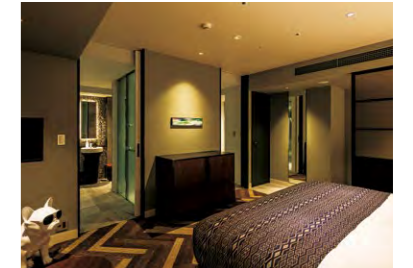
「客室はヴィンテージモダンを表現した独創的デザイン。これまでのバス、洗面、トイレの3点ユニットではなく、洗面やトイレを分け、標準的なスタンダードダブルでは、約25m²のゆったりとした空間を提供している。また、各フロアには、渋谷をモチーフにしたアートパネルやデザインを散りばめた。そして、オフィスやホール利用者と宿泊客が交流できる4階のハブスペースを重視。広いパブリックゾーンには「ストリーム」と「スクランブル交差点」を表現した藤田 二郎氏のアートパネルを設け、このハブスペースが渋谷ストリームの「スクランブル交差点」になるという思いを込めた」と語る。

渋谷ストリームエクセルホテル東急

建築主 / 株式会社東急ホテルズ
 設計・監理 / 株式会社東急設計コンサルタント
 内装設計 / UDS株式会社、the range design INC.
 照明デザイン / パナソニック株式会社
 施工 / 東急・大林共同企業体
 オープン / 2018年9月



器具の存在を抑えて照度を確保した読書灯



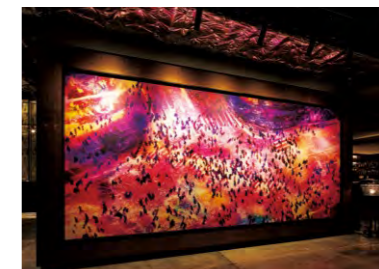
客室に掛けられたアートを際立たせるダウンライト



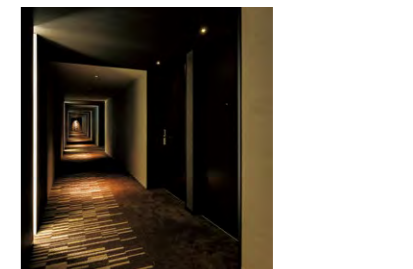
落ち着いた光がコミュニケーションを促すロビー



間接光や光壁で構成されたバー



藤田二郎氏のアートパネルを美術館・博物館用の高演色スポットライトで鮮やかに照射



間接照明とダウンライトが効果的に用いられた客室廊下

渋谷ストリーム建物断面図

